

こんしゅう  
今週のことば「イエスの生まれた日」

せしよ  
《聖書》ルカによる福音書 2:1-14

### たんじょうひ 誕生日

だれでも自分の生まれた日がいっであるか  
答えることができます。でもよく考えてみ  
ると、自分ではいつ生まれたか知ることが  
できません。親が生まれた日を教えてくれ  
たからわかるのですね。

ところで、私たちはなんのために生まれ  
てきたのでしょうか。すぐに答えることは  
できませんが、真剣に考える必要があり  
ますね。

### イエスの生まれた日

イエスの生まれた日、いつだったのか  
わかりません。今のように、いついつ生ま  
れたとって役所にとどけるような時代で  
はなかったので、記録に残っていません。  
イエスにしたがった最初の弟子たちも、

せいしよ ぶんしよ か のこ ひと  
聖書を文書として書き残した人たちも、イ  
エスがいつ生まれたかということに興味  
がありませんでした。

むしろ、イエスがなんのために生まれた  
のかということに興味を持っていました。  
イエスの生まれた物語を伝えた人たちも、  
イエスが誰であって、なんのために生まれ  
たかを、わたしたちに伝えたかったのです。

ルカによる福音書では、特に、イエスが  
まず貧しい人びとの友だちになるために生まれ  
たことを、みんなに知らせています。だか  
ら、イエスの誕生の知らせは、夜どおし起  
きて仕事をしていた羊飼いに告げられてい  
ます。これはとても大事なことなのです。

クリスマスの日にあたって、自分のこと  
だけを考えるのではなく、できるだけ多く  
の人たちの友だちになれるには、どうすれ  
ばいいかを考えてみましょう。

しゅ こうたん まいじつやはん ねん たきのしょうざぶろう  
主の降誕の祭日夜半〇年（瀧野正三郎）